

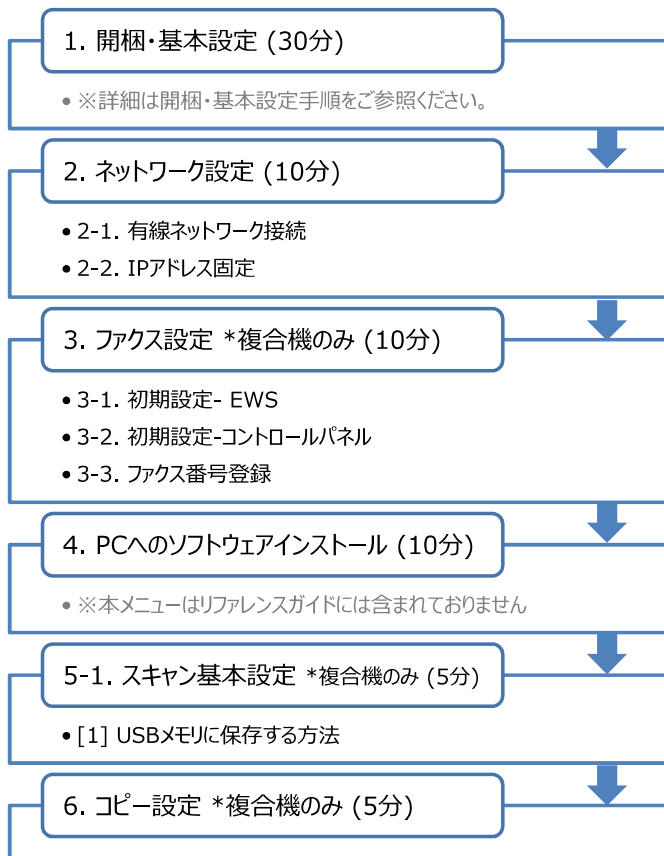


HP クイック リファレンス

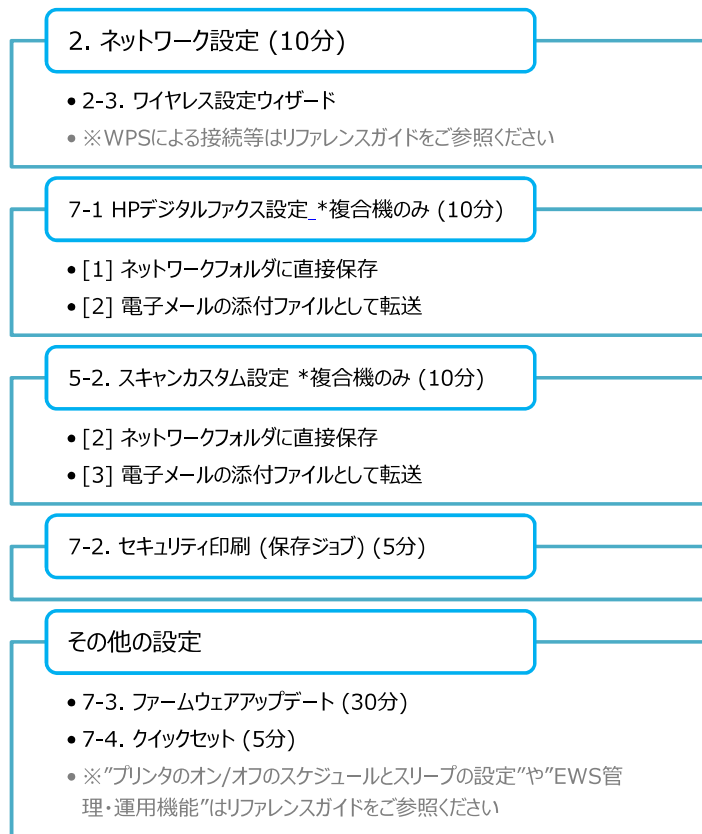
HP PageWide シリーズ

設定メニュー概要

基本設定 (70分)



カスタム設定



1. 開梱・基本設定

<基本設定>

▼設定手順

(リファレンス_エンジニア用・リファレンス_エンジニア用 参照：初回電源投入時の設定)
(開梱・基本設定手順 参照)

1. 開梱・組み立て

オプショントレイを使用する場合は、製品本体を印に合わせて、しっかりとオプショントレイに引き下ろします。
※内面にコネクタが付いており、製品本体とオプショントレイがきちんと噛み合わない、本体がオプショントレイを認識しません。
装着後、前面・後面にある、固定スイッチを施錠にセットします。

2. 各種セットアップ (言語/地域/年月日/時間/使用環境設定)

初回設定完了後、コントロールパネル/EWSから変更可能です。

3. カートリッジの取り付け

同梱されているSETUPのラベルがあるカートリッジを取り付けます。
※同梱されているカートリッジを使用せず、市販のカートリッジを使用すると、セットアップに失敗します。
取り付け後、カートリッジの確認に最大2分かかる場合があるので、製品のカバーやドアを開けないでください。

4. トレイ2にA4用紙を縦にセット

既にセット済の場合は、トレイ2を出し入れます。

5. 印刷システムの初期化 (22分程度) ←必須

この操作を実行しないと印刷機能が動作しません。
初回設定時に実行していない場合でも、製品を再起動するとこの画面が再表示されます。

6. プリント構成の設定

各機能のオン/オフを選択します。
※初回設定完了後、EWSの **設定 - セキュリティー 管理者設定** メニューから変更可能です。

<注記>

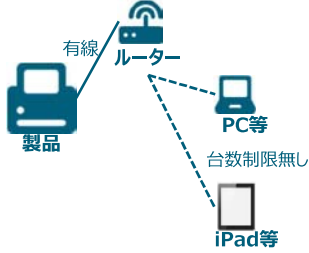
プリント構成設定、各機能のオン/オフ画面において、誤って**全てのネットワーク機能をオフ**にしてしまった場合は、EWSアクセスが不可能になり、通常の方法では**再設定ができなくなります**ので、ご注意ください。

2. ネットワーク接続概要

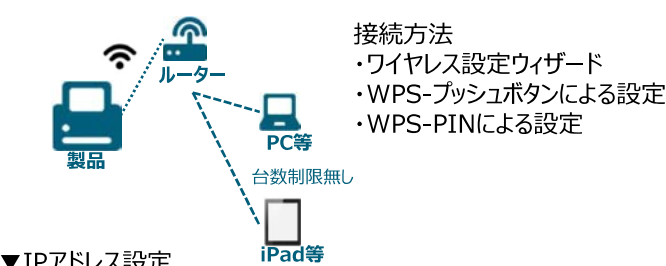
<基本設定>

←ルーター有り ルーター無し→

▼有線ネットワーク接続



▼無線ネットワーク (インフラストラクチャー接続)



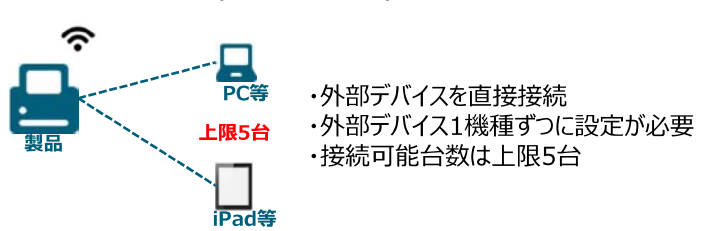
▼IPアドレス設定

- ・IPアドレスを自動取得 (DHCP)-デフォルト
- ・固定のIPアドレスを設定

<注記>

- ・有線ネットワーク接続と無線ネットワーク (インフラストラクチャー接続)は、いずれかのネットワーク接続方法を選択してください。(どちら接続方法でも初回設定可能です。)
- ・有線ネットワーク接続と無線ネットワーク(インフラストラクチャー接続)は、同時接続できませんが、無線ネットワーク (インフラストラクチャー接続)とWiFi-Direct (アドホック接続) 等は同時に接続可能です。
- ・Ethernetケーブル、WPS、USBケーブル等は製品に同梱されておりませんので、ユーザー様にご準備いただく必要があります。

▼Wi-Fi Direct (アドホック接続)



※USB接続 (リファレンスガイドには含まれておりません)



※製品背面のUSBタイプAポートは、サードパーティのソリューション用ですが、現在対応しているソリューションはございません。

2-1. ネットワーク接続～有線ネットワーク

<基本設定>

▼接続と接続確認

(リファレンス_エンジニア用 参照：ネットワーク接続
- 有線ネットワーク接続方法 - 有線ネットワーク接続)

1. 製品のLANポートにEthernetケーブルを接続します。
2. コントロールパネル画面で、(1) **ダッシュボード** を下方向にスワイプ、(2) **有線ネットワーク** ボタンをタッチ します。IPアドレス等のネットワーク情報が表示されます。

! IPアドレスが表示されない場合 -> 製品がネットワークに接続されていません

[確認事項]

1. Ethernetケーブルが、しっかり製品のLANポートに接続されているか確認します

Ethernetケーブルが、しっかり接続されているのが確認された場合、

↓

2. ユーザーのネットワーク管理者に以下の事項を確認します。

- (1) Ethernetケーブルが正常にユーザーのLANに接続されているか
- (2) DHCPが有効か
DHCPが有効で無い場合は、DHCPを有効にいただくか、製品用の固定IPアドレスを決めてもらい、固定アドレスを設定します。
- (3) MACアドレスによるアクセス制限をしていないか
MACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、製品のMACアドレスをお伝えし、登録していただく必要があります。



[IPアドレス表示が確認された場合]

同じネットワークに接続されたPC等からEWS (組み込みWebサーバ) 画面が表示できるか確認します。EWSは、ブラウザに製品のIPアドレスを入力することにより表示されます。

! EWSが表示されない場合

- (1) もう一度、ネットワーク接続を確認します。
- (2) 製品、PCを再起動します。

【お客様への確認・依頼事項】

- ・DHCPの有効化
- ・製品のMACアドレスの登録依頼

2-2. ネットワーク接続～固定IPアドレスの設定

<基本設定>

▼固定IPアドレスの設定

(リファレンス_エンジニア用 参照：ネットワーク接続

– 有線ネットワーク接続方法 – 固定IPアドレスの設定)

【お客様への確認・依頼事項】

- ・IPアドレス
- ・サブネットマスク
- ・デフォルトゲートウェイ
- ・DNSサーバー

1.コントロールパネル画面で、

(1) **ダッシュボード** を下方向にスワイプ、

(2) **有線ネットワークの場合**

有線ネットワーク ボタン - **設定** ボタン - **Ethernet設定** メニュー - **詳細設定** メニュー - **IP設定メニュー** をタッチします。

無線ネットワークの場合

無線ネットワーク ボタン - **設定** ボタン - **ワイヤレス設定** メニュー - **詳細設定** メニュー - **IP設定メニュー** をタッチします。

2.IP設定方法を **手動設定** にします。

3.ユーザーのネットワーク管理者から製品用の**IPアドレス等**の情報をいただき、その情報を設定します。

IPアドレス等のネットワーク情報の表示画面を確認します。

IPアドレスが、ネットワーク管理者指定のものと異なる場合は、設定をやり直します。

また、ネットワーク管理者指定のIPアドレスが他機器のIPアドレスと重複している場合は、接続ができません。

他機器とIPアドレスが重複していないか確認が必要です。

[IPアドレス表示が確認された場合]

同じネットワークに接続されたPC等からEWS（組み込みWebサーバ）画面が表示できるか確認します。

EWSは、ブラウザに製品のIPアドレスを入力することにより表示されます。

！EWSが表示されない場合

(1)もう一度、ネットワーク接続を確認します。

(2)製品、PCを再起動します。

2-3. ネットワーク接続～無線ネットワーク

<カスタム設定>

▼接続と接続確認

(リファレンス_エンジニア用 参照：ネットワーク接続

– 無線ネットワーク接続 (Wi-Fi) 方法 – ワイヤレス設定ウィザードによる接続設定)

【お客様への確認・依頼事項】

- ・DHCPの有効化
- ・製品のMACアドレスの登録依頼
- ・ネットワーク名
- ・ネットワークパスワード

1.製品のLANポートからEthernetケーブルを外します。

2.コントロールパネル画面で、

(1) **ダッシュボード** を下方向にスワイプ、

(2) **無線ネットワーク** ボタン - **設定** ボタン - **ワイヤレス設定** メニュー - **ワイヤレス設定ウィザード** - メニュー をタッチします。

3.ワイヤレス設定ウィザードに従って、ネットワーク名、ネットワークパスワードなどを入力し、ワイヤレス設定を完了します。

IPアドレス等のネットワーク情報が表示されます。

！IPアドレスが表示されない場合 -> 製品がネットワークに接続されていません

[確認事項]

1.ユーザーのネットワーク管理者に以下の事項を確認します。

(1) **DHCPが有効か**

DHCPが有効で無い場合は、DHCPを有効にしてください。

製品用の固定IPアドレスを決めてもらい、固定アドレスを設定します。

(2) **MACアドレスによるアクセス制限をしていないか**

MACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、製品のMACアドレスをお伝えし、登録していただく必要があります。

[IPアドレス表示が確認された場合]

同じネットワークに接続されたPC等からEWS（組み込みWebサーバ）画面が表示できるか確認します。

EWSは、ブラウザに製品のIPアドレスを入力することにより表示されます。

！EWSが表示されない場合

(1)もう一度、ネットワーク接続を確認します。

(2)製品、PCを再起動します。

3-1. ファクス設定～初期設定-EWS

<基本設定>

[1] EWSから設定

(リファレンス_エンジニア用 参照:

ファクス – ファクスヘッダ・ファクス番号の設定方法

– EWSから設定 (日本語でファクスヘッダ名を設定したい場合)

【お客様への確認・依頼事項】

- お客様のファクス番号
- 電話回線の種類
- ファクスヘッダ名 (企業名等)

日本語でファクスヘッダ名等を設定したい場合は、EWS (組み込みWebサーバ) から設定します。

1.電話回線のケーブルを **LINE** ポート (左側) に接続します。

電話機を接続したい場合は、電話機と **EXT** ポート (右側) をケーブルで接続します。

<注記>

電話回線ケーブルは製品に同梱されておりませんので、ユーザー様にご準備いただく必要があります。

2.製品と同じネットワーク上のPCのブラウザのURLに、製品のIPアドレスを入力します。

3.**ファクスタブ – 設定 – ファクス設定ウィザード** をクリックし、ファクス設定ウィザードを使用し、初期設定を行います。

(※**ファクスタブ – 設定 – ファクス基本設定/ファクス詳細設定** から個別に各項目を設定することもできます。)

4.ファクス設定ウィザードの最後に、**ファクステスト**を実行します。

! ファクステストが失敗する

- > LINEポートの接続に問題がある可能性があります

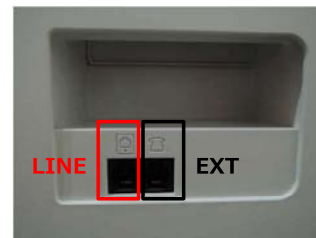
[確認事項]

1. 電話回線ケーブルが、しっかり製品のLINEポートに接続されているか確認します

電話回線ケーブルが、しっかり接続されていることが確認された場合、

↓

2. 設定をやり直します。



3-2. ファクス設定～初期設定-コントロールパネル

<基本設定>

[2] コントロールパネルから設定

(リファレンス_エンジニア用 参照:

ファクス – ファクスヘッダ・ファクス番号の設定方法

– コントロールパネルのファクスセットアップウィザードから設定)

※ファクスヘッダ名等は英数字でしか登録できません

【お客様への確認・依頼事項】

- お客様のファクス番号
- 回線の種類
- ファクスヘッダ名 (企業名等)

1.電話回線のケーブルを **LINE** ポート (左側) に接続します。電話機を接続したい場合は、

電話機と **EXT** ポート (右側) をケーブルで接続します。

<注記>

電話回線ケーブルは製品に同梱されておりませんので、ユーザー様にご準備いただく必要があります。

2.コントロールパネル画面で、(1) **ファクスボタン – セットアップボタン – セットアップウィザードメニュー** をタッチします。

3.表示に従って設定を完了します。

4.ファクステストを実行します。

ファクスボタン – セットアップボタン – ツールメニュー – ファクステストメニュー

! ファクステストが失敗する

- > LINEポートの接続に問題がある可能性があります

[確認事項]

1. 電話回線ケーブルが、しっかり製品のLINEポートに接続されているか確認します

電話回線ケーブルが、しっかり接続されていることが確認された場合、

↓

2. 設定をやり直します。

- > 電話回線の種類が誤っている場合があります

[確認事項]

1. 適切な電話回線が選択されているか確認し、設定をやり直します。

PSTN : アナログ回線

PBX : 構内電話交換網

VoIP : IP電話回線 (デジタル)



3-3. ファクス設定～ファクス番号登録

<基本設定>

[1] EWSから設定

(リファレンス_一般ユーザー用 参照：ファクス - ファクス番号の登録方法
- EWSから設定 (日本語で連絡先の名前を登録したい場合))

【お客様への確認・依頼事項】
・連絡先名
・連絡先ファクス番号
・送信確認を印刷するかどうかの確認

日本語で連絡先名を設定したい場合は、EWS (組み込みWebサーバ) から設定します。

- 1.製品と同じネットワーク上のPCのブラウザのURLに、製品のIPアドレスを入力します。
2. **スキャンタブ - アドレス帳 - 連絡先** をクリックし、連絡先とファクス番号を追加/編集します。

[2] コントロールパネルから設定

(リファレンス_一般ユーザー用 参照：ファクス - ファクス番号の登録方法 - コントロールパネルから設定)

※ファクスヘッダ名等は英数字でしか登録できません

- 1.コントロールパネル画面で、(1) **ファクスボタン - 電話帳ボタン** をタッチします。
- 2.表示に従って設定を完了します。

<注記>

デフォルトでは、ファクス送信時にファクス送信確認ページが印刷される設定になっています。この設定をオフにするには、以下の手順でオフにします。

[EWS] **ファクスタブ - 設定 - ファクス詳細設定 - ファクス確認** メニューで **オフ** を選択します

[コントロールパネル] **ファクスボタン - セットアップボタン - レポートメニュー - ファクス確認** メニューで **オフ** を選択します

ファクスでは、A3サイズ原稿は送信できません。また、A3サイズで受信したファクスは、A4サイズでプリントアウトされます。

※コピーやスキャン機能ではA3サイズも利用できます。

<設定のアドバイス>

連絡先名は文字コード順に表示されますので、任意の順序に表示したい場合、連絡先の先頭に01_、02_の様な連番を付与すると便利です。

連絡先 (デフォルト)	連絡先 (連番付与)
ABC	01_日本HP
テスト	02_テスト
日本HP	03_ABC

4. PCへのソフトウェアインストール -1-

<基本設定>

※本手順はリファレンスガイドには含まれておりません。

Windowsソフトウェアのインストール方法

1. 付属のCDをPCに挿入します。

プリンタモデルの選択 - (対象製品を選択) - サポート ウェブサイト (ソフトウェアとユーザーのガイド)

2. 表示されたサイトから対象製品とインストール先のPCの環境対応したソフトウェアをダウンロードします。

(対象製品を選択) - ソフトウェアとドライバー - ドライバー: 製品インストールソフトウェア - 確定 - ダウンロード

3. ダウンロードしたソフトウェアを実行します。

4. インストールウィザードが立ち上がりますので、**プリンタユーザー: HPプリンタソフトウェアをコンピュータにインストール**を選択し、手順に従って操作を進めます。

※**プリンタ管理者: ユーザーにカスタマイズされたインストール パッケージを作成**を選択すると、インストールパッケージに含める

ソフトウェアコンポーネントを選択する事ができます。ユーザー様のご要望でカスタマイズが必要な場合は、インストールするソフトウェアコンポーネントを選択し、手順に従って操作を進めます。

<ソフトウェアコンポーネント>
プリンタドライバ
HP Print and Scan Doctor
スキャンのドライバとアプリケーション
Scan To PC アプリケーション
ファクス ドライバ
オプションのソフトウェア

5. 接続オプション画面で、本製品への接続方法を選択します。(本書 2. ネットワーク接続参照)

- ・ワイヤレス - デバイスへのワイヤレス接続を確立する。
- ・有線ネットワーク - Ethernetケーブルを使用してデバイスをネットワークに接続します。
- ・USB - デバイスとコンピュータをUSBケーブル接続します。
- ・後で接続 - デバイスをまだ接続しないで、後で接続します。

6. **ファクスセットアップウィザード** が立ち上がりますが、後から設定 (キャンセル) 可能です。

7. インストール終了後、テストページが印刷されます。

※複数PCにダウンロードする場合

ダウンロードしたソフトを他のPCへコピーし、インストールすることが可能です。

複数PCに同一ドライバーを配布・インストールする場合、SCCM等の別会社ソリューションについては、Microsoft社及び認定販売店にご確認ください。

<最低必要なソフトウェアコンポーネント>
[MFP]
プリンタドライバ
スキャンのドライバとアプリケーション
ファクス ドライバ

[SFP]
プリンタドライバ

UPD (Universal Printer Driver)

UPDを使用すると、PageWide シリーズの全ての製品 (他一部HP製プリンタでも使用可能) に共通な汎用ドライバーとして使用することができます。

※Windowsソフトウェアインストール方法の手順2.において、表示されたサイトから対象製品とインストール先のPCの環境対応したドライバーを
(対象製品を選択)- ソフトウェアとドライバー - ドライバー: 汎用プリントドライバー メニューからダウンロードし、手順に従って操作を進めます。

※UPDはプリントドライバーのみで、他のソフトウェアは含まれませんので、ファクス、スキャンといった印刷以外の機能を実行することができません。

5-1. スキャン基本設定

▼スキャン方法の種類

[1] USBメモリに保存する方法

(リファレンス_一般ユーザー用 参照: スキャン - USBメモリに保存する方法)

1. 原稿をADFまたはスキャナガラスにセットします。
2. USBメモリを製品本体の左側面にある USBポート に挿入します。
3. コントロールパネル画面の スキャンの送信先 ボタンをタッチします。
4. 各種設定を行います。
5. 変更した設定をデフォルトの設定として使用したい場合は、**現在の設定の保存** します。デフォルトの設定は1件のみ設定可能です。
6. 保存ボタンをタッチし保存します。

【お客様への確認・依頼事項】
・USBメモリの使用許可

5-2. スキャンカスタム設定

[2] ネットワークフォルダに直接保存する方法

→設定方法 リファレンス_エンジニア用 参照: スキャン - ネットワークフォルダに直接保存する方法

→利用方法 リファレンス_一般ユーザー用 参照: スキャン - ネットワークフォルダに直接保存する方法

詳細はリファレンスガイド参照

【お客様への確認・依頼事項】
・共有ネットワークフォルダ情報
・送信者用メールアドレス
・SMTPサーバー情報
・受信者メールアドレス

[3] 電子メールの添付ファイルとして転送する方法

→設定方法 リファレンス_エンジニア用 参照:

スキャン - 電子メールの添付ファイルとして転送する方法

→利用方法 リファレンス_一般ユーザー用 参照:

スキャン - 電子メールの添付ファイルとして転送する方法

詳細はリファレンスガイド参照

スキャン方法	操作内容	コントロール パネル	EWS	ソフトウェ ア
USBメモリ	スキャン実行	✓	-	-
	設定	-	✓	-
ネットワークフォルダ	スキャン実行	✓	-	-
	設定	-	✓	-
電子メール	スキャン実行	✓	-	-
	設定	-	✓	-
PC	スキャン実行	✓	✓	✓
	設定	-	✓	-
SharePoint	スキャン実行	✓	-	-
	設定	-	✓	-

リファレンス_一般ユーザー用 参照：コピー - コントロールパネルからコピーする, 用紙サイズに合わせてコピーする

[1] ドキュメント

1. 原稿をADFまたはスキャナガラスにセットします。
2. コントロールパネル画面の コピー ボタンをタッチします。
3. ドキュメント ボタンをタッチします。
4. 設定ボタンより各種設定を行います。
5. A4→A3の様に、サイズを変更したい場合
 - 5-1. **サイズ変更 > ページにあわせる** を選択します。
※ページにあわせる 場合は、ADFではなく、スキャナガラスに原稿をセットする必要があります。
 - 5-2. **サイズ変更 > カスタム** を選択し、適切な変更比率 (A4→A3の場合は、141%)を設定します。
※カスタム設定をデフォルトで保存すると、ADF、スキャナガラスどちらからもコピーが可能です。
6. 変更した設定をデフォルトの設定として使用したい場合は、**現在の設定の保存** します。
デフォルトの設定は1件のみ設定可能です。
7. コピーボタンをタップし、コピーを実行します。

ドキュメントのコピー
サイズ変更
なし
カスタム
ページにあわせる
2ページ/シート
ページ全体 (91%)
リーガル-レター (72%)
A4 > レター 91%
レター > A4 64%
...

[2] IDカード

IDカードとは、免許書など裏表のあるカード状原稿について、裏表を1枚の同じ面に印刷する方法です。
詳細はリファレンスガイドをご参照ください。

7-1. HPデジタルファクス

HP デジタル ファクスとは、受信したファクスをネットワークフォルダに直接保存するか、または電子メールの添付ファイルとして転送する方法です。
設定方法は、パソコンにインストールされたプリンタのソフトウェアを使った設定方法と、EWSを使った設定方法があります。
HPデジタルファクスの機能を利用するには、プリンタとパソコンなどが同じネットワーク上に接続されている必要があります。

【お客様への確認・依頼事項】

- ・保存・転送したファクスを印刷するかどうかの確認
- ・共有ネットワークフォルダ情報
- ・送信者用メールアドレス
- ・SMTPサーバー情報
- ・受信者メールアドレス

[1] ネットワークフォルダに直接保存する方法

(リファレンス_エンジニア用 参照：HPデジタルファクス - ネットワークフォルダに直接保存する方法)

1. プリンタのソフトウェアを使った設定
 - Windowsから設定する
 - Macから設定する
2. EWS (組み込み Webサーバ) から設定する

[2] 電子メールの添付ファイルとして転送する方法

(リファレンス_エンジニア用 参照：HPデジタルファクス - 電子メールの添付ファイルとして転送する方法)

1. プリンタのソフトウェアを使った設定
 - Windowsから設定する
 - Macから設定する
2. EWS (組み込み Webサーバ) から設定する

<注記>

デフォルトでは、ファクス受信時に受信したファクスが印刷される設定になっています。
この設定をオフにするには、設定ウィザード中に、**受信したファクスを自動的に印刷しますか？** で **いいえ** を選択してください。

7-2. セキュリティー印刷

<カスタム設定>

▼設定方法

(リファレンス_エンジニア用 参照：セキュリティ - 保存ジョブ)

セキュリティ印刷機能として、保存ジョブがあります。

本機能を使用するには、製品とクライアントデバイスが同一のネットワークに接続されている必要があります。

EWSより設定し、印刷時のプリンタプロパティでジョブの種類を選択します。

	ジョブ保存モード (ドライバー)	詳細	コントロールパネルでの操作画面
一時ジョブ	試し刷り後に印刷	(1)製品にジョブを送ると一部印刷される (2)その後、製品上で任意の部数を印刷 (3)印刷実行後にジョブは削除される	印刷ボタン -> 保存ジョブボタン
	個人ジョブ	(1)ジョブにPIN/パスワードを設定できる (2)製品にジョブを送っても印刷されない (3)その後、製品上で任意の部数を印刷 (4)印刷実行後にジョブは削除される	印刷ボタン -> プライベートジョブボタン
	クイックコピー	(1)製品にジョブを送ると一部印刷される (2)その後、製品上で任意の部数を印刷 (3)印刷実行後にジョブは削除されない	印刷ボタン -> 保存ジョブボタン
標準ジョブ	保存ジョブ	(1)ジョブにPIN/パスワードを設定できる (2)製品にジョブを送っても印刷されない (3)その後、製品上で任意の部数を印刷 (4)印刷実行後にジョブは削除されない	印刷ボタン -> 保存ジョブボタン
		製品での保存時間	再起動後に削除されるか/されないか
一時ジョブ		EWSで設定 (デフォルトは なし-削除されない)	EWSで設定 (デフォルトは保持無し)
標準ジョブ		EWSで設定 (デフォルトは なし-削除されない)	必ず保存される

7-3. ファームウェアアップデート

<カスタム設定>

▼アップデート方法

(リファレンス_エンジニア用 参照：ファームウェアアップデート)

【お客様への確認・依頼事項】

- ・自動インストールを実行するかどうかの確認
- ・USBメモリの使用許可

デフォルトでは、ファームウェアをコントロールパネル/EWSからアップする機能が非活性 (Disable) になっています。

そのため、リファレンス_エンジニア用 参照：ファームウェアアップデート - EWSからアップデート を参照し、

EWSの管理者設定で、**Webからダウンロードされるファームウェアアップデートのみ** にチェックを入れ、適用し、

この機能をオンにする必要があります。

その後、各メニューよりアップデートを実行します。

1. EWSからのアップデート

2. コントロールパネルからのアップデート (リファレンスガイドには含まれておりません)

コントロールパネル - サポートツール - メンテナンス - (左のメニューエリアを下までスクロール) - **ファームウェアを更新する**

3. アップデートファイルを使用したアップデート (USBメモリを使用)

また、自動インストールを実行する場合、**EWSからのみ**、設定可能です。

！EWS、コントロールパネルからアップデートされない場合

[確認事項]

ユーザー側ネットワークのセキュリティ (ファイアーウォール)などでブロックされていないか確認

ユーザーのネットワーク管理者にネットワークセキュリティでアップデートファイルをブロックしていないか確認します。

↓

解決しない場合、3. アップデートファイルを使用したアップデートを実施します

！アップデートファイルをダウンロードできない場合

[確認事項]

ユーザー側ネットワークのセキュリティ (ファイアーウォール)などでブロックされていないか確認

ユーザーのネットワーク管理者にネットワークセキュリティでアップデートファイルをブロックしていないか確認します。

↓

解決しない場合、ユーザーのネットワークとは別のネットワーク環境でアップデートファイルをダウンロードします。

※本手順はリファレンスガイドには含まれておりません。

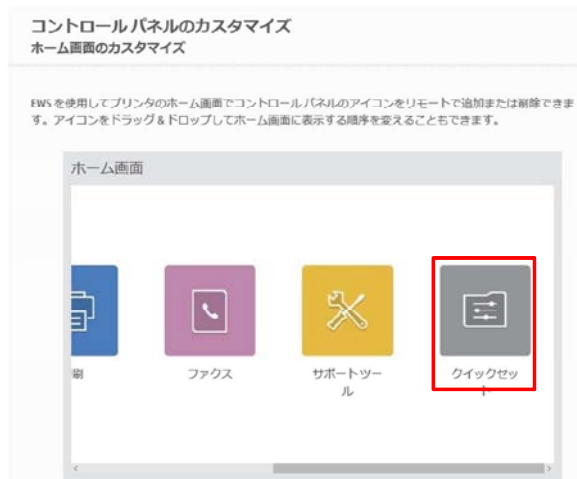
クイックセット を使用すると、スキャンやコピー時の煩雑な操作を事前設定したショートカットを作成することができます。

例：A4→A3など拡大コピーを行う場合、倍率（例、141%など）や給紙トレイを設定

- 1.EWSで、**設定 - コントロールパネルのカスタマイズ - クイックセット** 画面に入ります。
- 2.新規ボタンをクリックします。
- 3.**[種類]**で **コピー** を選択し、**[名前]**を入力し、次の画面に進みます。
- 4.**[サイズ変更]**で **ユーザー設定** を選択し、**[%]**に **141** を入力します。
- 5.**[デフォルトトレイ]**で、A3用紙をセットするトレイ（ここでは **トレイ3**）を選択し、**[適用]**をクリックすると、設定完了です。
- 6.コントロールパネルのホーム画面に **クイックセット** ボタンが表示され、タッチすると、作成したクイックセットの **拡大コピー A4->A3** ボタンが表示されます。

拡大コピー A4->A3 ボタンをホーム画面に表示する方法

- 1.EWSで、**設定 - セキュリティ - 管理者設定** 画面で、**ホーム画面のカスタマイズ** を有効にします。
- 2.**設定 - コントロールパネルのカスタマイズ - クイックセット** 画面に入ります。
- 3.**クイックセット** をダブルクリックします。
- 4.**拡大コピー A4->A3** をクリックします。**[ホーム画面に移動]** ボタンが表示されますので、クリックします。
- 5.コントロールパネルのホーム画面に **拡大コピー A4->A3** ボタンが表示されます





© HPDC LP